

Our Commitment

—Bringing Happiness & Education































Our Commitment

—Bringing Happiness & Education

私たちのゆるぎない決意~ハピネスと学びを届け続けること~

これからどのような事業に取り組むにせよ、この決意に変わりはありません。

公民館を支えるアテンダントは、自分の仕事に誇りを持ち、

ゲストへ本物のハピネスを届けるために日々努力を重ねています。

Our Commitment - Bringing Happiness

私たちは2015年に5周年を迎えました。

そして2016年、次の5年に向けて、

他には負けないアイディアとおもてなしを強みに、

今日も私たちは質の高い学びをカタチにします。

ここでしか体験できないハピネスを届け続けるために、全力を尽くします。







【目次】

- ハイライト 4
 - 5 「強い思い」
- 長期持続的な成長 6
- 公民館講座の質の向上 8
- 10 特色ある講座の提供
- 12 アテンダントの育成
- 14 情報発信について
- 16 フェイスブック利用促進

- 17 メディア掲載一覧
- 18 平成27年度公民館講座の実績
- 平成27年度出前講座の実績 23
- 25 体験型学習アンケート結果
 - 26 サマーエクスペリエンス(子ども)
 - 29 サマーエクスペリエンス(保護者)
 - 34 テーマパークで学ぶ職業観(子ども)
 - 38 テーマパークで学ぶ職業観(保護者)
- 43 平成28年度講座一覧

過去最高の記録達成

公民館登録者数

388名

+74%(289名)

677名

公民館講座参加人数

949名

+33%(318名)

1,267名



「強い思い」

2015年4月1日、

宝達志水町公民館は統合5周年を迎えました。

「だれもが気軽に利用でき、質の高い学びを得られる公民館を創ろう」という 一つの強い想いを抱きました。

公民館のイメージを変える道のりは、決して平坦なものではありませんでした。 強い想いを全員が共有することで、何回も難局を乗り越えてきました。

強い想いは、一つずつ実を結び、

「宝達志水町公民館」として新しい価値を創出し続けています。

今も、この強い想いは、 宝達志水町公民館に関わる一人ひとりに受け継がれ、 新たな"学びの場"として 私たちは歩みをはじめています。

人とのつながりや学びを広めるためには、 高いゲストの満足度を獲得し続け、 繰り返し足を運んでいただくことが必要です。

ゲストの満足度とは、

さまざまな体験を通して感じる「体験価値」に対する評価です。

この「体験価値」を高めるために取り組んでいる、 クオリティ向上策を紹介します。

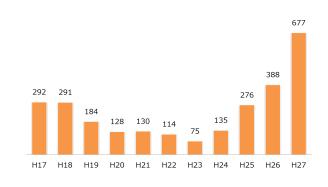




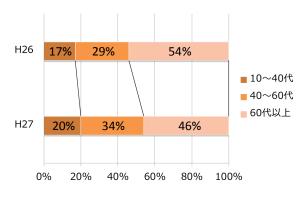
体験できない講座"を数多く提供していきました。また、今後 た。今後も、世代を超え、親子や夫婦など、あらゆる形態の の公民館利用への抵抗感を低減させることを目的に、ニュー 人々が利用しやすい公民館をめざし、講座の質、おもてなし エイジングの方々向けの講座を刷新し、取り込みを強化して いきました。その結果、公民館登録者数の大幅増に加え、60

今年度は、民間企業との連携をはかりながら、"ここでしか 代までの公民館利用者数が前年度と比較し、8%向上しまし の強化に励んで参ります。

※ニューエイジング:子供が手を離れた中高年層



公民館登録者数推移



年代別利用者の割合

平成28年2月18日現在

これからの公民館

長期持続的な成長



将来の公民館利用者のニーズの変化に応じた公民館運営 基盤を形成するため、対象を「世代を超え、親子や夫婦など、 あらゆる形態の人々」としています。その中でも、仕事を退職 し、時間的余裕のある人やニューエイジング*の方々および小・ 中学生の取り込みを強化対象とし、受け入れ態勢の整備を図ります。そして、4つの施策を中心に実行することで、参加・継続率の向上と、生涯学習の充実を目指します。

※ニューエイジング:子どもが手を離れた中高年層

方向性:公民館利用者のニーズの変化に応じた運営基盤の整備と公民館講座の価値向上

重点対象

世代を超え、親子や夫婦など、あらゆる形態の人々

取り込み 強化

- ·小·中学生
- ニューエイジング (子供が手を離れた中高年層)

受入体制 の整備

- ・多彩な講座の提供
- ・アテンダント育成 ^(ボランティア)

生涯学習の充実

(講座への参加回数) (講座 参 加 者 数) 学習支援の強化 × 参加・継続率の向上

- (1) 公民館講座の質の向上
- (2) 特色ある講座の提供

- (3) 継続性の高い講座の用意
- (4) アテンダントの育成

(1) 公民館講座の質の向上

利用者の多様な学習機会の提供に努めるため、必要に応じて、学校・企業・他地域の人々と協力し学習機会等の充実を 図ります。

"体験を通した学び"を提供することで、参加者に新たな気づきや発見を促し、自らが主体的に判断し、問題解決を図る能力や協調性を育む講座を目指します。それらの学習機会の提供を行う上で、専門的で質の高い講座の開催に力を入れるとともに、事業をやりつばなしにせず、参加者から評価を得ることも大切です。それらを分析し次へとつなげていくことで、リ

ピーターを増やし、学習支援を継続・戦略的に展開することで、新規利用者の開拓にも力を入れていきます。



少人数制の料理教室



NEW STYLE「ライフプランセミナー」

(2) 特色ある講座の提供

公民館では「世代を超え、親子や夫婦など、あらゆる形態 の人々」を重点対象としています。しかし、一人ひとりの学習 に対するニーズは異なります。講座にテーマを持たせ、専門 性を高めることによって、他にはない学びが提供できます。 今まで公民館を利用したことがない方でも、参加したくなる

H26 17% 29% 54% ■ 10~40代 ■ 40~60代 60代以上 H27 34% 46% 20% 20% 40% 60% 80% 100% 0% 年代別利用者の割合

ような幅広いメニューを用意しています。 人口は減少して いきますが、高齢者人口は今後増えるとの予測から、ニュー エイジングの取り込みを早期段階で行うことが、積極的な公 民館利用につながると考えます。また、各講座のロゴも公民 館イメージの刷新のために用意されたものです。





テーマを持った講座

(3) 継続性の高い講座の用意

同じ思いを持った人たちが集い、つながりを作るということ は、絆づくりや、コミュニケーション能力を向上させるために、欠をターゲットに講座を展開し、子供向けにも決まった週末に開 かすことができません。今年度は、継続性の高い英会話講座 「World Travel ENGLISH」を新設し、つながり作りに挑戦しました。 全18回の英会話教室には、平日開催にもかかわらず、20名の 方が参加し、継続率も88%と非常に高い結果となりました。参 加者アンケートからは、新しい方と出会い、一緒に講座に参加 をするのが楽しみという声もあり、今後も、この講座以外にも、 継続性の高い講座として、参加者ニーズの高い料理教室

「COOKING SCHOOL」を開設し、平日の日中でも集まれる主婦層 催し、つながり作りやコミュニケーション能力向上に役立ててい きたいと考えております。



NFW 🗀 🗂

(4) アテンダントの育成

質の高いおもてなしと、講座運営に伴う安全確保などの充実 に欠かすことのできないのが、公民館アテンダントです。今年 度から本格的に実施している人財育成により磨きをかけ、更な るサービスの質の向上ややりがいの向上を図ります。

今後も高校生・大学生を取り組むことで、地域にとどまらず、 広域的に事業を展開し、人と人とのつながりを広げていきま す。コミュニケーション能力や自らチャレンジするリーダー的人 財の育成を目指します。

※ アテンダント:世話人・案内人・接客を行う人のこと。ここでは、参加者を "体験を通した学び"へといざなう案内人、そして最高のサービスの提 供者という2つの意味を持たせてあります。







利用者の多様な学習機会の提供に努めるため、必要に応 じて、学校・企業・他地域の人々と協力し学習機会の充実を 図ります。

"体験を通した学び"を提供することで、参加者に新たな気 づきや発見を促し、自らが主体的に判断し、問題解決を図る 能力や協調性を育む講座を目指します。それらの学習機会

の提供を行う上で、専門的で質の高い講座の開催に力を入 れるとともに、事業をやりっぱなしにせず、参加者から評価を 得ることも大切です。それらを分析し次へとつなげていくこと で、リピーターを増やし、学習支援を継続・戦略的に展開す ることで、新規利用者の開拓にも力を入れていきます。

民間企業との連携

今年度は、多くの企業・学校と連携し、ここでしか体験で きない質の高い学習機会の提供に努めました。特に今年は 公民館統合5周年アニバーサリーイヤーとして、企業様との 協力により、公民館への注目度も高まりを見せました。日本 航空株式会社様と実施が決定した「折り紙ヒコーキ教室」も その一つです。

今後も公民館運営において、企業・学校との協力体制 は、公民館が"特別な場"として存続していくうえで非常に

重要になってきます。これか らも、多くの方々と協力しな がら、上質な学びを提供し てきます。



JAPAN AIRLINES

PDCAサイクルの活用

講座運営の質を上げるために重要な役割を担うものが、参加者 アンケートです。そこから得た参加者の生の声を大切にし、今後

の講座運営に素早く活かす仕組みにP DCAサイクルを活用しております。P(P lan:計画)、D(Do:実行)、C(Check: 評価)、A(Act:改善)の4つをサイクル につなげ、講座を重ねるごとに質が高く なる仕組みを確立しております。これか らも、アンケート内容に変更を加えなが ら、よりブラッシュアップできる工夫を 行っていく予定です。





ドリームキャンパス広告(フェイスブック掲載用)

体験型学習の意義

今、子ども達に求められている能力。それは、自ら問いに気 づき、答えを見つける力です。与えられた問題や課題に対し ていかに正確に答えるか、ということを主とする学習では、こう した能力を育むことは難しいかもしれません。何かを見て不 思議だと感じる、もっと知りたいと思う。そうした「感覚」や「思 い」が新しい知識を得るためにはとても重要です。体験型学 習では、子ども達の興味関心の高い場で無理なく、楽しく、自 分の力で「問い」そして「答え」を見つけることを目指していま す。

今回は、1月4日から9日にかけて体験型学習「テーマパーク で学ぶ職業観」が行われ、20名の小中学生が、大人気テーマ パーク、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンとキッザニア甲子園 で、職業について理解を深めてきました。

事前研修では、パークオリジナルテキストを使用し、社会に は、様々な職業があり、すべての職には役割や意義、必要な 能力があることを学び、実地研修では、意識して探さなけれ ば気が付かないような裏方の仕事まで目を向ける訓練をしま した。これにより、職業に対する視野を広げることができ、幅 広く職業について考えられるようになりました。また、グループ 活動を通してコミュニケーション能力や、主体的に物事を考え ることにも役立ちました。

リアルな職業・社会体験は、子ども達の勤労観、職業観に より深みを与えてくれました。体験するパビリオンを自分で決 め、最後までやり通す、という責任感も育むことができたよう です。

事後研修では、体験から得た仕事の大変さややりがいを紙 にまとめ、将来の「職」について考えてました。最初は「職業 観?」と首をかしげていた子ども達も、現地での体験活動をと おして、働くことの大切さや難しさ、喜びを自ら感じとったと同 時に、新たな自分の可能性を見つけられたようです。



キッザニア甲子園(ヤマト運輸パビリオン)での職業体験

参加者の声



体験型学習に参加して、やりたい仕事が増えました。

特に、キッザニアでの「ハンコ作り」を通して、人に使ってもらえるもの(人の役に立 つもの)を作る仕事に就きたいと思いました。これからは、何事にも最後まであきら めずに、やり通していきたいです。

押水第一小学校5年生 寺岡 美咲さん

~保護者アンケートより~

体験学習に初めて参加しました。子どもにとって貴重な体験ができたと思いました。

行くだけでなく、事前・事後の研修で子どもの意識が変わっていくのが分かり、いろいろな意見を交えて考えるいい機会に なったと思いました。修了証書も受け取ることができ、満足感・達成感いっぱいの体験学習の旅になったと思います。あり がとうございました。(一部抜粋)